

令和7年度 当初予算 一般会計

150.4億円

前年度比13・9%減！

令和7年度の一般会計の予算総額は、150億4,000万円です。前年度当初予算と比較して24億2,000万円の減（13・9%減）になりました。

政府の令和7年度地方財政計画では、社会保障関係費および人件費の増加や物価高が見込まれる中、地方団体が、さまざまな行政課題に対応し、行政サービスを安定的に提供できるよう、地方交付税等の一般財源総額について、令和6年度を上回る額を確保するとされたものの、多久市は自主財源比率が40・5%であるため、厳しい財政状況に変わりありません。

このため令和7年度予算編成は堅実経営で臨み「行政評価」に基づく事業評価結果を踏まえ、財源確保に最大限の努力を行い、事業費について検証し、持続可能な財政運営を基調とした予算編成を行いました。

令和7年度 注目事業

新規事業

定住促進補助金を拡充します！

●定住促進補助金 1億円

社会情勢の変化などに対応すべく、定住促進補助金メニューの一部を拡充し、補助金の交付を行います。
①子育て・若者世帯定住奨励金（100万円へ増額）、
②空き家バンク利活用補助金、③移住子育て世帯家賃補助金、④新婚世帯家賃補助金、⑤宅地造成支援補助金、⑥奨学金返還支援補助金（新設）

新規事業

2025年日本国際博覧会 LOCAL JAPAN展へ参加します！

●2025年日本国際博覧会
LOCAL JAPAN展参加事業 696万7千円

大阪・関西万博期間中に、万博首長連合が主催する『Resolution of LOCAL JAPAN展～地域が創る日本と地球のいのち輝く未来～』（愛称「LOCAL JAPAN展」）に参加します。多久市が参加する共創コンテンツは、全国5の自治体で各地域の特産品を用いた「おにぎり」を提供することで、日本の地域の食文化、歴史を世界に発信します。

新規事業

保育料の第2子以降を 無償化します！

●保育料の第2子以降無償化 1,500万4千円

多子世帯の経済的負担を軽減するため、保育所や認定こども園に通う第2子以降の保育料を無償化します。保護者の所得や保育施設などの同時利用、兄弟・姉妹の年齢にかかわらず、生計を同一にしている子どものうち、最年長者を第1子、その下の子を第2子とカウントし、第2子以降の保育料を無償化します（県内初の取り組み）。

新規事業

GIGAスクール端末を 更新します！

●GIGAスクール端末更新事業 9,800万4千円

令和2年度に整備した児童生徒用の1人1台パソコンの更新を行います。GIGAスクール推進のため義務教育学校3校合わせて、新たに1,437台を整備します。多久市はこれまでの取り組みが評価され、公立学校情報化ランキング義務教育学校部門（日経パソコン）において、2年連続全国1位（令和4・5年度）を獲得しています。

新規事業

がん検診が便利でお得になります！

●がん検診事業 2,575万円

公立佐賀中央病院の開院に伴い、平日に各町公民館で実施していたがん検診を、公立佐賀中央病院で行います。これによって、ご自身の都合に合わせた予約が可能となります。がん検診のため公立佐賀中央病院まで「チョイソコたく」を利用する際は、無料となるよう運賃を補助します。

継続事業

公立佐賀中央病院が 令和7年7月に開院します！

●公立佐賀中央病院事業 7億2,318万3千円

多久市と小城市が共同して創設する「公立佐賀中央病院」が令和7年7月に開院します。県央の拠点病院として地域医療の中核的な役割を実現し、医療供給体制の充実に向けて病院事業を推進します。